

ITTTOは熱帯森林保全と森林資源の貿易進展の両立を目指す立場。だが木材を生産する途上国は自国内産業が未熟なため、森に経済資源を頼る傾向が強い。「持続可能な形で森を管理することで、地域の住人たちに経済的な利益がもたらされる仕組み」を整えるべきだと説く。

リカで開かれた森林保全の国際会議で、出席していた南米の首脳からも「以前から森林保全で大きな面積を確保しているのに、いまだに資金が届いていない」との意見を聞かされた。

大卒。カノタベリーラ(二
経済学博士号)。オースト
ラリアン・ワールド・アカデミー
世界遺産指定による地域社
会研究に従事。1990年
中区在住。52歳。

◆国際熱帯木材機関（I T T O） 热帯林資源の保全や持続經營を促進するための国際機関。加盟国は60カ国（生産国33、消費国27）で、世界の熱帯森林面積の85%、熱帯木材貿易の90%を占める。実施しと欧州



Steven E. Johnson カナダ生まれ。ブリ

森を守る信念

国際熱帯木材機関情報部長／スティーブン・ジョンソンさん

多様な生物を育み、大気中に酸素を送り込む天然の熱帯林。そのうち毎年数百糸が、木材利用や農地、牧草地の開拓のために伐採されているとみられている。正しい管理を伴わない伐採や、違法な乱伐が横行すれば、森林の劣化には歯止めがかかるない。

危機感を抱いた国際社会による森林管理の成果も、徐々に表れている。アフリカやアジア、太平洋、中南米で持続可能な管理下にあらわる天然熱帯林の面積は、2005～10年で3600万公頃から5300万公頃に増えた。森林經營の計画に基づく木材生産林の面積も5年で3割程度増え、1億300万公頃に達している。

だが、それは世界全体の熱帯林の一部でしかない。今後はむしろ、食糧価格や燃料価格の高騰が乱伐を加速させ、森林保全への努力を妨げる恐れがある。

横浜に本部を置く国際熱帯木材機関（ITTO）が6月に発表した報告には、こうした警告が込められて

報告書をまとめた研究チームの一員として懸念を深めるのが、最近の食糧や燃料価格の高騰だ。

茨城・鉾田 基準

茨城県は19日、同県鉾田市で栽培された早場米を
たと発表した。東京電力の福島第1原発事故後、
県によると、検出されたセシウムは玄米1粒当たり
た。そのため、農林水産省は同日、消費者に冷静
産と区別されずに出荷される可能性が高く、県と
鉾田市は福島第1原発から約150キロ南西。原発事
故を受けたコメの検査は、農林水産省が茨城県を17都県に要請。収穫の前に予備検査と本検査を

◆コメの暫定基準値 国は食品衛生法上の放射
セシウムの暫定基準値を、コメについては玄米30
ppm未満と定めている。

「正しい管理、利用の仕組みを

文·写直三高橋 融生

宮城県栗原市で飼育されている肉牛。政府は同県産肉牛の出荷停止を解除した。 —19日夕



セシウム Q&A

かシ、す荷での当が、ら、がりさ月約と

厚勞省 健

茨城県鉾田市産のコメの予備検査で放射性セシウムが検出されました。

Q コメが放射性物質で汚染されるのはなぜですか。

A 福島第1原発で起きた水素爆発や、格納容器の弁を開けて排気する「ベント」で、放射性セシウムや放射性ヨウ素などが大量に放出されました。風で拡散、雨などに混じって田んぼの土や農業用水などに降下したとみられます。こうした土や水で稻を栽培すると、成長段階で放射性物質が根から吸い上げられ、コメに蓄積されます。

Q 今回、検出されたのはセシウムですね。

A 放射性ヨウ素は放射線を出す力が半分になる「半減期」が約8日

「メガ」